

「令和6年能登半島地震」により、被災された皆様に心より お見舞い申し上げます。被害情報・支援情報は、石川県ホームページ、全社協・被災地支援ボランティア情報ホームページをご参照下さい。

【災害ボランティア本部情報】

■ 被災者の皆様や支援者を支えるための募金への協力をお願いします。

- ・ 石川県「[令和6年能登半島地震に関わる災害義援金](#)」のお願い
- ・ 中央共同募金会「[ボラサポ・令和6年能登半島地震](#)」支援金募集

■ ボランティアの力が求められています。

- ・ 被災地でのボランティアの活動について

交通事情等様々な制約がありますが、石川県、被災市町村ボランティアセンターや民間支援団体によりボランティアの受入れが始まっています。十分な情報収集を行ったうえで、支援活動を計画してください。

- ⇒ 個人ボランティアは石川県のボランティア受付に登録して連絡をお待ちください。
- ⇒ 炊出しについては、大口支援団体の活動終了等により、食事支援が不足しており、被災市町村が申込フォームと設けて活動呼びかけています。

珠洲市 <https://www.city.suzu.lg.jp/soshiki/61/12391.html>

輪島市 <https://www.city.wajima.ishikawa.jp/article/2024012700015/>

能登町 https://www.town.noto.lg.jp/www/info/detail.jsp?common_id=21017

または、[石川県HP](#)へ

- ⇒ 能登町をはじめとする奥能登地域では、様々な支援技術や経験をお持ちのNPO等を対象として、ボランティアの受入れを行っている団体があります。詳しくは、長野県社協までお問合せください。

【活動例】

炊き出し、福祉・介護専門業務、簡単な大工仕事など

- ・ 能登町災害ボランティアセンター「長野県民限定募集」について

活動日 : ボランティアが少ない、平日(月～金)の応援をお願いします。

募集数 : 当面、1日1団体(5名～20名程度)で調整します。

※マイクロバス、ロングバン等、軽トラ随行は大歓迎

※現地との連携が必要なため、当面、市町村社協が主催、または協力する団体に限ります。できるだけ、職員の先遣派遣をお願いします。

活動先 : 能登町災害ボランティアセンター

日程調整 : 次のフォームから、ボランティア実働希望日に○印をつけること

<https://densuke.biz/list?cd=efRff5d7wbUzrwdg>

県社協からの予約確定の連絡をふまえて募集を行ってください。

なお、長野県大規模災害ボランティア活動助成を申請可能です。

・団体ボランティアの宿泊のご案内

能登町「春蘭の里」交流宿泊所こぶし

農家民宿で限界集落の地域づくりに取り組む「春蘭の里」を応援してください。

- 1泊素泊まり 4,400円 設備：布団（シーツ持参願います）トイレあり。入浴不可
- 能登町災害ボランティアセンター「能登サテライト」まで車で 25分
輪島市災害ボランティアセンターまで、40～50分
珠洲市災害ボランティアセンターまで、50～60分
穴水災害ボランティアセンターまで、30分
- お申込み 名鉄観光長野営業所（026-244-8557、原様）

・入浴支援プロジェクト

⇒ 訪問入浴車、温泉配達、入浴支援ボランティアの活動状況はこちら（[長野県社協HP](#)）

・「軽トラ」提供プロジェクト

- ・現地での活動に伴って傷ついたりしても差し支えないもの
- ・必要な状況：車検・保険が概ね3月末までであるもの、スタッドレス、4輪駆動、原則個人名義でないもの

■ 長野県内のボランティア活動への助成

- ・県社協では、被災地でボランティア活動を行う団体・グループの活動費の一部を助成する「長野県大規模災害ボランティア活動応援事業」の申請窓口となっています。助成対象となるボランティア活動は、次のいずれかのセンター等の募集に応じ、当該センター等の証明を受けることが可能な活動です。各センター等が、県外を含むボランティア募集を開始して以降の活動が対象となります。

- ・被災市町村災害ボランティアセンター
- ・被災市町村の指定避難所
- ・長野県内に拠点のある災害NPO（長野県社協が協定を締結している団体）

- ・また、次の助成金の申請も行われています。

⇒ 災害ボランティア・NPO活動サポート募金（ホッポ・令和6年能登半島地震）

※ 令和6年能登半島地震災害支援基金 連合長野・緊急助成（第2期助成を準備中）

■ 被災地災害ボランティアセンターの運営支援

- ・災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（事務局：中央共同募金会他、略称：支援P）
長野県内社協DSAT（災害VC運営支援者）は、支援Pの調整により奥能登地域の災害ボランティアセンターの運営を支援しています。
- ・関東ブロック社協災害時相互応援協定に基づく派遣
石川県中能登町災害ボランティアセンターの支援のため、同協定に基づく支援要請があり、長野県内からも2名（県社協1名、市町村社協1名）体制で、応援職員を順次派遣しています。
- ・県内市町村の取り組み（茅野市社協ほか）はこちらから（[長野県社協HP](#)）

令和6年能登半島地震支援 支援活動レポート

ボランティア団体や各社協の支援活動レポートをお寄せください。本会ホームページ等に掲載します。

■ 炊き出し支援



池田町社協では、池田町在住ボランティアと能登町で炊き出しを実施。豚汁、浅漬けを避難所にいらっしゃる方や、在宅の避難者にもお配りしました

○1月24日(水) 昼食 宇出津小学校(300食超)

夕食 能登中学校(300食超)

○2月 1日(木) 昼食 鶴川小学校

夕食 松波中学校

被災者からは、「野菜のたくさん入った豚汁は体が温まり、浅漬けもたくさんあって美味しかった」「温かいものを食べて気持ちが楽になったと声をいただきました。

「甚大な災害で避難されている皆さんが、少しでも元気になればと思い活動をしました。私たちにできることを今後もお手伝いしていきたいです。被災地の一刻も早い復興と、不自由な生活を強いられている皆さんに長野県からいつも心を寄せています。多くの方に関心を持っていただき、温かい支援が継続できるよう願っています」(炊き出しに参加した池田町災害救援ボランティアセンター長 立野 泰氏)

■ 災害ボランティアセンター運営支援「関東ブロック応援派遣」(中能登町)

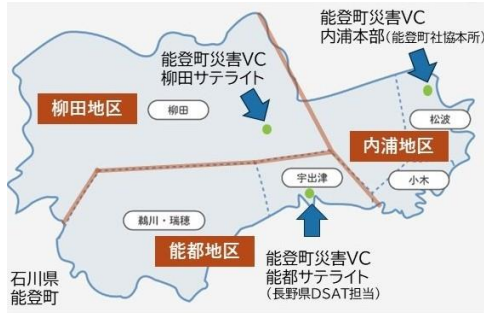
石川県中能登町(七尾市の手前)では、関東ブロック管内社協が、災害ボランティアセンターの運営支援を交代で行っています。長野県からは、3クール計8名が応援に入り、今後2クールが準備しています。

2月の第3クールは県社協、飯田市社協、佐久穂町社協の3名、第6クールは県社協、岡谷市社協、駒ヶ根市社協の3名で構成、山梨県内社協職員とともに、7日間の支援を行いました。



派遣職員の声：「県外の支援は初めてだったが、いろんな社協の人とともに活動し学ぶことが多かった」、「実際に被災地の状況を見て、ニーズに対応する中で、自分のまちで災害が起きたらどう対応するか改めて考えさせられた」

■ 災害ボランティアセンター運営支援「支援P」（能登町）



能登町では、「支援P」＝「災害ボランティア活動支援プロジェクト会議」（事務局：中央共同募金会）の派遣として、DSATチーム員が災害VCの運営支援を行っています。

2月以降、町内を3拠点でカバーする体制整備を支援。「能都サテライト」を長野チームが主に担当し、石川県ボラバス受入れや町社協独自の団体募集、また技術系NPOとの連携を促進しています。

《現地報告・抜粋》長野県内社協DSAT活動報告《能登町災害VC、令和6年2月27日分》

- ニーズ総数 477件（内浦：190件、能都：205件、柳田：79件）
- 活動実績 完了：192件、マッチング待ち：135件、現地調査待ち：83件
- ボランティア数 連日バス20人×2か所+地元及び団体
- 応援体制

内浦本部を名古屋市社協、能都サテライトを長野DSAT、柳田サテライトを中国ブロック（広島市⇒広島県⇒島根県⇒岡山県）でサポート。3つの拠点で支援側がボランティア受け入れやマッチングの中心を担い、地元職員が地域や被災者宅へ出やすい環境が徐々に整ってきた。

- 来週から県ボラバスが穴水宿泊に変わるため、受付やマッチングの負担増とボランティア活動時間減が懸念。午前と午後でボランティアが入れ替わり、1日のボランティア受付数が倍になる。
- 3月から大分チーム（2名ずつ3週間）、中国ブロックが増員。また、軽トラも現在12台から来週には20台超えとなることから、3拠点同時開設や受け入れ規模の拡大を模索していく。

■ 長野県災害派遣福祉チームの能登町支援（長野県災福ネット）



医療チームの派遣体制が縮小する中で、長野県ふくしチームは、福祉避難所の運営を担い、地元主体の体制への引き継ぎと調整しながら、3月いっぱい派遣を予定しています。

次のクールは、派遣者が不足しています。福祉・介護事業所の皆様のご協力をお願いします。

㊉	3月11日（月）～15日（金）
㊒	3月20日（水）～24日（日）
㊓	3月23日（土）～27日（水）

15 クールの萱津です。ある被災者が自宅から見つけ出し、小木中避難所に飾ってくださった小さなお内裏様とお雛様👸。可愛らしくしてと14クールから引継ぎました。折り紙不足で十分ではありませんが被災者から「まあまあ（笑顔）」との感想を頂きました。

■ 長野県災害派遣福祉チームの活動状況

2/15 緊急セミナー資料



SBCニュースワイド

